

議会報告「市民との意見交換会」記録 (平成 27 年 2 月 17 日 (火) 北部公民館)

1 部 質疑応答

問：日の丸掲揚について 13：1 で採択されているが、2 年前は 7：7 の賛否同数で議長裁決で不採択と記憶する。この 2 年間で賛否が変わった理由を個々の議員にお聞きしたい。

議員：市議会としての議論の結果であり、少数意見も尊重し結論を出してきた。掲揚していないのが加西市議会の歴史であったが、改めての請願提出を受けて審議され、幅広く意見がまとまって採択となった。

議員：2 年前は反対、今回は賛成した。日の丸は尊重すべきものであるが、議場のデザイン配置等から必要性は低いと判断していた。視察時に他の市議会を見学してきたが、地方議会としても日の丸掲揚がなされ、今回は自分の気持ちを素直に表明した結果である。

議員：前は反対し今回は賛成した。加西市議会の歴史を重く受け止めての反対。前回の請願は代表区長と校区の区長印が押印されたものであったが、十分な協議がなく短時間でまとめられた請願で市の区長会との協議もなく十分な相談がなされた請願でないと判断した。請願は重いもの、議場の傍聴や見学もない中で議会の状況も確認せずに請願されることは慎重さに欠けた対応。その事にこだわる必要もないかもしれないが、特に掲揚に反対する強い思いもなかった。掲揚は大切な問題。

議員：前は反対、今回は賛成。前は賛否が同数となり議長として「現状維持の原則」から否決した。今回は、議員としての判断で賛成したもの。

市民：さきほどの発言に質問するが、「一人の意見では軽い」ことになるのか。平日開催の市議会には一般市民は傍聴にも行けないし、一人であっても請願を出すときも想定される。「軽い」との判断で請願や陳情が認められないのか。その発言は撤回すべきではないか。

議員：一人では軽いと言う意味ではなく、もっと慎重に協議してとりまとめる必要があったと、それが重要であるとの意味合い。

班長：考え方の問題、基本的には区長会等の肩書は問題ではない。指摘されている意味ではないが、発言の内容等には注意をはらって行うことが必要である。

2 部 意見交換 (人口増施策について)

市民：市長は 5 万人都市再生を表明するが、現実には人口減少。施策を展開しているようだが成果は出ているのか。加西市としての特徴ある施策となっているか。就職口がない。教育環境も悪いとの評判もあるが、就職先の確保、住宅住まいの確保は。

班長：配布資料の人口動向等を説明、少子化、「多死」社会が問題化。社会増減は顕著に表れていくが、全国的な傾向でもある。国も対策に動きだした。昼間人口の多い加西市、

交通機関の整備、就職先の確保、ベルデしもさとや宇仁の取り組み、企業が進出しても若者採用は少なく、定住化に向けた施策が重要である。

司会：人口の現状を説明。近隣市との比較も説明。なぜ加西市だけが減少化が激しいか、産業団地が満杯でも減少化は進んでいる。

市民：産業団地等の入居にあたり、地元雇用の条件を付けてきたのか。

班長：誘致には特別の扱いをしながら地元雇用の条件も付けてきた。企業にも配慮してもらっているが、今まで以上の要請も必要。

市民：意見交換会の取り組みは重要であるが、議員は任期中にどう市民の意見を反映させるかが問題。特別委員会は設置されないし、建設経済厚生委員会は閉会中に休んでいる人口増対策をどう審議してきたか、意見を聞きたい。

班長：議会ではそれなりの対応をしている。人口増対策特別委員会を廃止しているが、手を抜いたり審議を簡略にしているのではない。委員会でも本会議でもしっかりと審議している。明確な実績は説明できないが、所管の委員会で対応審議している。

議長：委員会の運営も問題なく堂々の審議を展開している。この場は、人口増の対策での意見交換会であり、皆さんの知恵と取り組みの苦労等を聞き、成果につなげていきたい。

市民：下里 21 町あるが、まとまらない現状がある。ふるさと創造会議も苦労する。各町の公会堂を活用し、町の活性化をめざしての人口増対策等を協議することが必要ではないか。魅力ある地域性を発揮させるための予算として 1 戸 1 万円の支給をしてはどうか。

司会：人口動向について説明。出生率等の現状も説明。

班長：市町の 5 万人再生は、達成が厳しいことを承知した上で表明している。行政と地域が人口減少に危機感をもって対応すれば歯止めがかかることを期待している。特別指定区域、新規就農者への支援、ぶどう栽培等への支援など遅々とした取り組みであるが成果を期待したい。

市民：宇仁のまちづくり協議会の取り組み現状報告。学校の新築に合わせて新規居住者住宅が微増。若者夫婦の U ターンが実現している。しかし、土地確保と整備に新築と高額な資金が必要となり支援策の必要性を実感する。行政と議会に現状理解と協力を求めたい。小さな校区であるが、地域で頑張っていきたい。

班長：皆さんと一緒に頑張りたい。

市民：土地開発、特に調整区域の縛りが定住を阻害している事例が多々ある。北条での土地を購入して家を建てるしかない。これでは人口増は無理、市長の熱意が調整区域の住民に伝わっていない。

班長：土地開発、農家住宅の限界は承知するが、特別指定区域制度、ベルデしもさと、宇仁の取り組み等の対策を講じているが即効性は難しい。農振除外は困難を極めるが、規制緩和も進んでおり鋭意努力したい。

市民：配布資料は有意義な内容。現状の施策は「2 次的な対応」、子育て支援対策に偏って

いる。定住促進策により未婚晩婚対策こそ急務ではないか。

班長：ヨーロッパ等の対策を説明。社会制度の必要性、抜本的な対策、国が責任を持つ制度が重要であるが、行政の支援は必要で、あの手この手の対応をしている。国の施策も期待したいが、みんなで知恵を出し合い対策していくことが重要と思う。

司会：不妊治療対策等も展開している。

市民：難問ではあるが、効果的な対策を要望したい。まず結婚を成立させることが重要で、2次的な対応に追われ過ぎているように思う。

市民：昔風の家族、家庭をめざすことを提案したい。

司会：子供や孫の世話ができる家族はよいもの。家族であるが、子育ての視点から補助対象にして奨励することも可能であり提案していきたい。

市民：ベルデしもさとの開発分譲について、その反応や進捗の状況を説明してほしい。

議員：来週の21日と22日に現地見学会。28区画で、400～500万円台の分譲価格。現状の概略を説明。